

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案)(05.04.21)

出席：田中先生、北後先生、角谷、久次米、柏木、中村、淡野、西尾、林、中道(計 10名)

日時：場所：05.04.21(木) 18:00-21:00pm、GBRC大阪事務所(フルサトビル)

資料： 前回議事録(案)

(仮称)建築物の火災安全設計の要点と実務」のまとめ方(角谷)

議事内容：

1. 前回議事メモ(資料)

- ・特に修正なし。

2. 「火災安全設計の要点と実務」のまとめ方について(方針の確認)(資料)

(出された意見)

・全体の構成について

- ・1章として、基本原則「防災計画、考えておくべきこと(ストラテジー)」の項目を追加する。出火防止、避難経路の確保、消防活動、延焼防止など項目に分けて記述する。
- ・2章「防災計画の方針、要点」の中で、「建物の利用上、形態上の特徴」については、「建築物の火災安全設計指針」を参考にまとめられるのではないかと。用途別にプランを決定する要因(構造、規模、室数など)を抽出し、防災計画上の要点につなげられるとよいのではないかと。
- ・3章か4章には、細部の問題(階段の段差、給気口の位置など)も盛り込む。

・作業分担について(田中先生より)

- ・全体目次：北後先生と角谷さん
- ・第1章 基本原則：久次米さん
- ・第2章 建物の特性と防災計画上の要点：北後研究室

3. その他

- ・次回・近畿支部防災計画部会 2005.5 / 18(水)18:00pm~、於GBRC大阪事務所
- ・H17年度の部会費が、¥120,000円となった。

以上

目次

1章	基本原則 / 防災計画上考えておくべきこと (ストラテジー)
	<ul style="list-style-type: none">・ 出火防止・ 避難経路の確保・ 延焼防止・ 消防活動
2章	防災計画上の方針・要点
2 - 1	建物の利用上、形態上の特徴 用途毎にプランを決定する要因 (構造、規模、室数など) を抽出し、2 - 2節につなげる
2 - 2	用途ごとの防災計画の要点
3章	防災計画上良く問題となる点と性能検証方法

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.05.18)

出席：田中先生、北後先生、角谷、吉田、中道、淡野(計6名)

(記録担当：淡野)

日時：場所：05.05.18(水) 18:00~20:00pm、GBRC 大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

「(仮称)建築物の火災安全設計の要点と実務」目次(案)(北後、角谷)

議事内容：

1. 前回議事メモ(資料)

- ・ 特に修正なし。

2. 「(仮称)建築物の火災安全設計の要点と実務」の各章・節の狙い、目次構成案(資料)

(出された意見)

○第1章について

- ・ 「防災計画の基本原則」が述べられた本は今までにもあるので、この本の特徴として「戦略的」な視点を出してはどうか。

○第2章について

- ・ 2-1 用途別、2-2 空間別という構成にして、それぞれの用途、空間別に、その後、建築計画の特性、防災計画上の特徴・要点をまとめてはどうか。
- ・ 用途別の建築計画の特性では、まず 就寝を伴う用途(集合住宅、病院・福祉施設、ホテル) 大規模空間を含み、多数の人が利用する用途(大規模店舗、複合施設、劇場、映画館) 事務所と大別してはどうか。また階段が1つしかないような雑居ビルについてもふれたい。
- ・ 空間別の建築計画の特性では、アトリウム・大空間、地下空間、低天井・大面積とわけてはどうか。また、附室、階段の組み合わせ、非常用 EV といった切り口もあるのではないか。
- ・ 複合施設については、「火災安全上の独立」の概念との関係を示してはどうか。
- ・ 用途別、空間別以外に可燃物別というくりもあるのではないか。

3. その他

- ・ 次回 近畿支部防災計画部会 2005/06/16(木)18:00pm~、於 GBRC 大阪事務所

以上

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録 (05.06.16)

出席：田中先生、北後先生、角谷、久次米、森山、中村、淡野、林、西尾、中道(計10名)

[記録：森山、中道]

日時：場所：05.06.16(木) 18:00～20:30pm、GBRC大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

避難開始時間に与える影響要因に関する研究-発見者の行動シナリオからの考察

(学会提出梗概)(森山)

「(仮称)建築物の火災安全設計の要点と実務」第2章 用途別・空間別の建築計

画の特性(事務所、病院、ホテル・旅館)(淡野、林、西尾)

議事内容：

1. 前回議事メモ(資料)

- ・特に修正なし。

2. 避難開始時間に与える影響要因に関する研究-発見者の行動シナリオからの考察

(資料)

(出された意見)

- ・規模が小さくなると通報時間が減るのでは？

法規を調べて自火報の設置義務の面積規定を見て、この規定ごとに面積別にして分析する。

- ・表4について、 t_1 はプラスする必要があるのか？
- ・表4について、第1行動で周知の場合は通報時間にマイナスが必要ではないか？
- ・表4について、第1行動で通報の場合は $t_3 \cdot t_4$ を単純にプラスしてよいのか？
- ・発見者、通報者が同じものと別のもので分けて分析する。
- ・事例数の十分ある用途については、用途によって発見者の行動に偏りが出るかもしれないので用途別に分析する。

3. 「(仮称)建築物の火災安全設計の要点と実務」第2章について(資料)

- ・ビルディングレターに過去に掲載された図面から、事務所、病院、ホテル・旅館についてプラン分類を開始した。
- ・各平面プランに、廊下、階段等を色分けして表現した作業の状況を報告した。

(出された意見)

- ・ビルディングレターに掲載されている建物の数はかなり多いので、サンプリングの方法を工夫する必要がある。プラン決定にかかわる、建物規模との必然性がわかる資料にしたい。

- ・ 図面は縮尺を統一した上で色分けした方がわかりやすいのでは？
- ・ 事務所について：基準階の規模によってコア計画は決まると思われる（レントラブル比が最も高くなるコア計画となる）。
- ・ 病院について：ナースの看護単位でプランが決定するのではないかな？
- ・ ホテル・旅館について：各客室に窓が必要になるため、奥行きが狭いプランになるのではないかな。よって中廊下型とその複合タイプ、タワー型、アトリウムタイプ、・・・と分類できそう。
- ・ 大規模店舗について：階段配置のパターンを調べてみると面白い結果が得られるかもしれない。

3. その他

- ・ 次回 近畿支部防災計画部会 2005/07/15(金)18:00pm~、於 GBRC 大阪事務所

以上

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.07.15)

出席：田中先生、北後先生、吉田、森山、難波、淡野、中道(計7名)

日時：場所：05.07.15(金) 18:00～20:30pm、GBRC 大阪事務所(フルサトビル)

資料： 前回議事録(案)

病院の火災事例の分析(難波)

避難開始時間に与える影響要因に関する分析(森山)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)：特に修正なし。

2. 病院の火災事例の分析(資料)

新聞記事のデータベースから、病院の火災事例をピックアップした結果を報告した。今後各病院にヒアリングを行い、可能な限り平面図を入手したい。その上で平面計画と煙の汚染範囲、避難行動などについて調査を進めたいと考えている。

(出された意見)

- ・各病院へのアンケートは、避難が上手くいった事例として行うという趣旨でやった方が、協力が得られるのではないかと。平面図も、案内図などではなく、正攻法でもらえるといいのだが...
- ・図面があれば、シミュレーション等に発展させることも可能になってくる。
- ・火災事例を集約した資料は、意外とないようなので、この作業は、患者さんにどのような危険性が起こるのかを知るのに、役に立つであろう。
- ・その他の情報を集める方法として、大阪市の草部さん、京都市予防課の中川さんに相談してみてもどうか。
- ・事例を集める他の手段として、国立国会図書館の資料検索(記事は?)、縮刷版などが考えられる。

3. 避難開始時間に与える影響要因に関する分析(資料)

前回出された意見に対して、追加検討した結果を報告した。

(出された意見)

- ・避難開始時間が、通報時間よりも長いのか短いのか、ということが知りたい。
- ・建物規模(延べ床面積、階床面積、階高)ごとに通報時間をグラフ化して分析してみてもどうか？
- ・今回の分析結果から、共同住宅とそれ以外の用途では傾向が異なっていることがわかった。今後は、住宅とその他に分けて分析したほうがよさそうだ。

4. その他

- ・次回 近畿支部防災計画部会 2005/08/31(水)18:00pm～、於 GBRC 大阪事務所

[記録：森山、難波、中道]

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.08.31)

出席：田中先生、北後先生、難波、淡野、中道(計5名)

日時：場所：05.08.31(水) 18:00～21:15pm、GBRC 大阪事務所(フルサトビル)

資料： 前回議事録(案)

建築プランの分類(事務所編)(淡野)

病院火災のアンケート調査について(難波)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)：特に修正なし。

2. 建築プランの分類(事務所編)(資料)

事務所のコアタイプ別に、基準階面積との関係を調べた結果を報告した。

(出された意見)

- ・各用途のコアタイプ別に一般的な傾向を捉えて、注意すべき点を挙げることを目的として、その後、各コアにおいて何が避難のネックとなっているかを見るとよい。
- ・事務室の基準階面積のほか、平面の短辺長さとコアタイプの関係も見るとよい。
- ・分類の方法を工夫すれば、プラン決定に繋がる要因の傾向を読み取ることが可能となると思われる。
- ・(事務所以外の用途として、)ホテルについては、片廊下型、中廊下型・・・と分類できるし、規模としては、ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテル・・・と分類できる。ホテルには店舗や宴会場などをもつ複合タイプもある。
- ・物販店舗の階段の配置については、建基法の階段幅の規定(床面積に応じた幅)と、建物周囲の長さによって決まるのではないか。
- ・物販店舗については、避難計算に使わない階段を固めて配置するパターンか、日常的に階段を縦動線として使う計画か否かという視点で分類するのモ一つ。

3. 病院火災のアンケート調査について(資料)

各病院へのアンケートをこれから実施する予定。その調査項目について報告した。

(出された意見)

- ・病院側が答えやすいように工夫したほうがよいだろう。

例えば、

- ・アンケートの目的を述べた前書きは、文字数を減らして簡潔にする(意義・趣旨を示し、その他は、別枠で書くなど)
- ・簡単に答えられる項目を先に並べる(回収率が上がるように工夫)
- ・調査したいこととアンケート項目が一致しているか、調査したいことが何なのかを整理してみる必要があるだろう。

4. その他

- ・次回 近畿支部防災計画部会 2005/10/6(木)18:00pm～、於 GBRC 大阪事務所

[記録：難波、淡野、中道]

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.10.06)

出席：田中先生、北後先生、角谷、吉田、淡野、西尾、林、中道(計8名)

日時：場所：05.10.06(木) 18:00~21:00pm、GBRC大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

ケーススタディ関係資料(仕様書、図面、作業メンバーリストなど)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)：特に修正なし。

「防災計画の要点と実務」本作成について、(加圧研究会での)排煙指針作成作業と同様に、「防災計画指針」を原案として作業した方がよいのではないか。

2. 来年6月開催の国際会議で発表する、性能設計ケーススタディについて(資料)

- ・建物仕様、図面、作業メンバー、および、東京で開催された第1回WGでの議事内容について報告があった。
- ・建物は、30階建ての高齢者施設である。
- ・神戸大北後研チームは、避難計画と図面作成担当となっている。

(以下のような意見がでた)

全体のプランニングについて

- ・高齢者の居住スペースは、建物の外周で見晴らしの良い場所にもってきた方がよいのでは？
- サービス関係やコアは内側に。

independent エリアの避難計画について(7-29階)

- ・各階で2つに水平区画を行い、それぞれに階段とEVのセットを設ける(水平区画をすれば、階段は2箇所でもよいだろう)。
 - ・階段+EVは、元図面の「STUDIO」の部分あたりに設定。
 - ・火災階では、非火災区画側に避難した後、階段とEVの両方を使用して避難する。
 - ・非火災階では、両方の区画の階段とEVを利用して避難する。
- 両区画のEVと階段は、長時間、煙から安全となるように計画する。
- EVは、通常時と非常時の両方の使い勝手を考える必要がある。
- ・階段・EVの近くにラウンジ等を設け、滞留スペースとして利用できるようにするとよい。

Assisted Living エリア(3-6階)

- ・水平避難の考え方は independent エリアと同様(但し自力避難が困難である人がほとんどであるため、階段使用の避難は想定しない)。
- ・コの字型の部分を利用して、回廊状の車椅子車路を設けるとよいのでは？
- ・各居室の水廻りスペースは背中合わせで計画するのが一般的ではないか？
- ・外壁側に水廻りスペースを設定しているプランがあるが、中廊下側に設けるのが一般的ではないか？

Long Term care エリア (1,2 階)

- ・ 上階のコア計画にあわせてプランを見直しする必要がある。
- ・ 図面でコの字型の奥まった部分がメインエントランスであれば、エントランス近くにオフィスなどの管理諸室がくるのではないか？

その他

- ・ 屋上テラスに、展望風呂を計画したらどうか？ (消防活動用の水源にもなるだろう)
- ・ 図面作成については、大宮研の学生たちにも協力してもらってはどうか？

以上のような意見が出たので、10/13 の東京の第 2 回目WGで報告し、検討してもらうことにした。

3. その他

- ・ 12 月上旬にカナダから、タケダヒサさん (耐火関係の専門家：フォーリンテック (カナダの代表的な木質材料試験機関) 所属) が来日される予定。お話を聞く機会を設けたい。
- ・ 次回 近畿支部防災計画部会 2005/11/4 (金) 19:00~、於 GBRC 大阪事務所

[記録：中道]

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.11.04)

出席：田中先生、北後先生、原田先生、吉田、森山、難波、淡野、林、土橋、中道(計10名)

日時：場所：05.11.04(金) 19:00~21:00pm、GBRC大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

避難開始までのシナリオ作成について(森山)

ケーススタディ関係資料(林)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)：特に修正なし。

2. 避難開始までのシナリオ作成について(資料)

- ・発見者と通報者の属性が同じ場合と異なる場合を別にして分析した結果を報告した。

(出された意見)

- ・発見時の火災の規模が小さいから、通報時間が大きくなっている事例があるのではないかと
ぼや火災で通報時間が大きいものの特徴をみてみて、特殊な事例が多ければ省いて分析する。

3. 火災安全性能設計ケーススタディについて(資料)

- ・田中先生にケーススタディのメンバー(建築設計・防災計画関係)に参加していただけることになった。
- ・今後、当部会でケーススタディに対する意見が出た場合は、角谷さん(建築設計・防災計画関係)と北後先生(避難計画関係)に、東京のWGに伝達して頂くことになった。

4. その他

- ・次回：12/6(火) 15:00~18:00 公開研究会(都市防災研究会と合同開催)於ドーンセンター
「木造市街地の火災安全と外壁の耐火性能」
講演：大阪の密集市街地状況と都市再生モデル事業について(仮題)
入江健二(大阪府庁)
都市火災の物理的延焼性状予測モデルの開発
樋本圭佑(京都大学防災研究所)
木造密集市街地の市街地火災に対する防火性能
土橋常登(日本建築総合試験所)
木造外壁の耐火性能評価に関するモデルと耐火試験
武田久弘(フォーリンテック、カナダ)
- ・次々回：2006/1/12(木)18:30~、於 GBRC 大阪事務所

[記録：森山、中道]

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (05.01.12)

出席：田中先生、北後先生、角谷、中道(計4名)

日時：場所：06.01.12(木) 18:30~21:00pm、GBRC 大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

防災設計目標の展開について(角谷)

来年度部会予算申請について(中道)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)

- ・特に修正なし。

2. 防災設計目標の展開について(資料)

- ・設計目標の中で、通常火災と最大の火災とは具体的にどのような状況を想定しているのか明確にしたほうが良い
例)スプリンクラー作動、不作動/開口設備の閉鎖障害の有無など
- ・重要なところから順に火災から守るためにはどうすべきかを考えて方針を立てるべきである。
例)火災階以外の安全(竪穴を守る) 出火階の安全(水平避難など) 出火室の安全
- ・文章での説明に加えて、時系列で設計目標を図示するとわかりやすくなるのではないか。

3. その他

- ・来年度部会予算申請について(資料)
加圧研究会での報告書作成費用も見込んで申請することとした(提出期限2/10)
- ・次回：2006/2/24(金)18:00~、於 GBRC 大阪事務所

[記録：中道]

建築学会近畿支部・防災計画部会議事録(案) (06.02.24)

出席：田中先生、北後先生、角谷、吉田、淡野、中道(計6名)

日時：場所：06.02.24(金) 18:00～21:00pm、GBRC 大阪事務所(フルサトビル)

資料：前回議事録(案)

第2種排煙に関するコンタクトポイントの回答について(角谷)

議事内容：

1. 前回議事録案(資料)

- ・特に修正なし。

2. 第2種排煙に関するコンタクトポイントの回答について(資料)

- ・研究会からの意見は、結論を先に書き、説明も具体的に解りやすく書くように修正する。
- ・至急取りまとめて、松下先生にお送りする。

3. その他

- ・次回：2006/4/20(木)18:15～、於 GBRC 大阪事務所

[記録：中道]